

平成29年度 風の子保育園 事業報告

新園舎になって6年目、新制度になって3年目です。この間の情勢の変化としては、1つには、待機児童解消のため小規模保育園・認定子ども園が増えたことで他園でも定員割れがおきています。(特に乳児と3歳児)2つには、保育士の処遇改善をするために処遇改善Ⅱが国から示されました。(キャリアパス制度に基づく職務と職責に応じた、一部の職員を対象とするもので風の子は受け入れることを選択しました。)園として処遇改善Ⅰ(全員を対象)のため今年度給与規定の見直しと俸給表の変更を行いました。これは保育士確保のためでもありましたが、確保できない状況がありました。3つには保育所保育指針が改定されました。(小学校との接続による幼児教育のなかの教育の分野が強化され、養護の部分が削除された)このような情勢の変化のなかで、園としても定員割れ、保育士不足という状況があり、今後の見通しと制度の変化をどう見極めていくのかが問われています。前年度、立ち上げた未来検討委員会が中心になって40周年の企画について進めてきました。イベント、記念誌に別れ具体的な内容が決まってきました。

① 40周年にむけて企画の提案。

<イベント>

日時・・・平成30年8月11日(土) 18時から20時

場所・・・風の子保育園

目的・・・40周年を祝い、なつかしむ

対象者・・・卒園生(1年生から20歳位)

記念品・・・40周年記念誌(無料配布)

<記念誌>

主に過去10年(第31回卒園生～第40回卒園生)の卒園生を対象とし関わった保護者祖父母の方の思いを聞く。

② 園長・主任の役割を見直し業務内容や分担を明確にする

今年度から主任が保育現場からでてフリーと主任業務になってきました。園長との連携をより密にするために役割と仕事内容を明らかにしていきます。

③ 情勢部会として情勢について学び職員・保護者にわかりやすく伝え学習しあう。

今年度の署名学習会は、今までの成果を保護者の声をつなげていく形で行ったので保護者からの切実な声が聴かれ、より深まった学習会でした。保護者からの声(要求)をひきだし署名活動につなげていきたいと考えています。

④ 研修について

幼児体操教室、わらべうた研修(乳児)の他に東海子ども文化センター・給食セミナー(神奈川)・全国保育団体合同研究集会(埼玉)(8名参加)等に参加してきました。若手職員を中心に全国合研に参加し全国の仲間たちから刺激をもらい自分たちの保育に生かすように学んできました。

<保護者の意見・要望> 1件(11月27日)文書

I・歳児クラスに対して特定保育士(記名)の子どもに対する強い口調・態度が気になる。

II・その態度に対して、上司は注意しないのか。

III・若手職員の言葉使いが気になる。

Iについては、本人と主任・園長で話し、本人から文書を提出してもらう。

IIIについては、職員会議で意見文をよみ、一人ひとりの自覚を促す。

<固定資産物品の購入>

防災用テント(15万円) ノートパソコン(143426円)